

## 当別町ボランティア連絡協議会 おおぐち ひろみ 会長 大口 弘美さん



## 一人ひとりが支え合える 地域社会を目指して

## 当別町社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター

## たにぐち ゆうこ 谷口 裕子さん

町内には各種ボランティアに取り組む個人・団体があり、それぞれの分野で活動をしています。今回は「ボランティア」をテーマに、日々活動をしているお二人からお話を伺いました。

### 自ら望んで行動する

言葉のイメージだけでボランティアを敬遠してしまう方が多いと思います。それが現実なのかもしれません。しかし、ボランティア活動は簡単に誰でも行えることなんです。例えば、町内会のゴミ拾いや草刈りなどに参加することも立派なボランティアといえます。また、自分ができることを無理せずやるのが基本であり、強要されて行うものではありません。自ら望んで参加することに意義があります。内容にもよりますが、活動に参加することで自身も楽しむ、充実感・達成感を得ることも大切です。ボランティアに「定年」はありません。逆に長い人生経験で得た知識や技能を発揮することができます。こ

のまちで暮らす一人ひとりが輝き楽しく生活できる、支え合い(ボランティア)が当たり前になれる、そんな地域社会になって欲しいと思います。(大口会長)

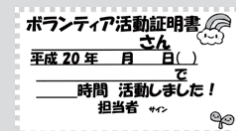
### 学生も多数登録しています

困った時はお互いさま!の精神で地域福祉を支える住民ボランティアの方は、1,596名(9月10日現在)登録しており、配食サービスの配達員、オープンサロンでの駄菓子販売、犬の散歩代行などの活動を行っています。また、北海道医療大学の学生も約400名が登録しており、ボランティア活動を通して地域住民との交流を深めています。9月6日にゆとろで開催した「福祉まつり」では、学生のアイデアを取り入れた、ファッションショーや簡単な化学を体験できる子どもサイエンス教室などの各種イベントも大変好評でした。また、ご存じない方も多いのですが、個人・団体を問わず、イベントや地域活動でボランティアをすると、

とうべつポイントカード会の「アウルカード」のポイントを発行することができます。30分ボランティア活動をすると1ポイントが付与されます。当別町共生型地域福祉ターミナルにて事前に登録する必要がありますので、詳しくはお問合せ下さい。(谷口さん)



アウルカード



ボランティア活動証明書

### 【問合せ先】

当別町ボランティアセンター  
(当別町弥生 1091 - 6)  
☎ 0133-22-0400  
(平日 9:00 ~ 18:00)

今回の取材を通して、人とのふれあいを大切にすることがボランティアの原点ではないかと改めて感じました。(9月10日取材)